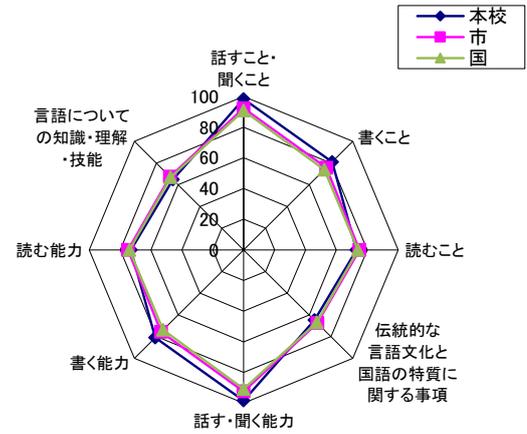


宇都宮市立横川中央小学校第6学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

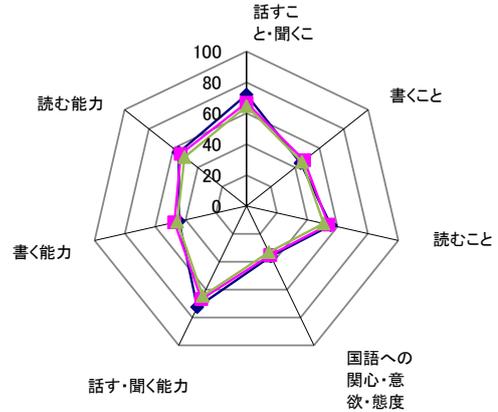
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	98.4	92.4	90.8
	書くこと	81.0	75.7	73.8
	読むこと	73.0	74.9	74.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	64.9	67.5	67.0
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	98.4	92.4	90.8
	書く能力	81.0	75.7	73.8
	読む能力	73.0	74.9	74.0
	言語についての知識・理解・技能	64.9	67.5	67.0



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	72.0	66.8	64.6
	書くこと	44.4	47.4	45.6
	読むこと	55.6	54.0	50.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	36.0	35.2	33.2
	話す・聞く能力	72.6	66.8	64.6
	書く能力	44.4	47.4	45.6
	読む能力	55.6	54.0	50.8
	言語についての知識・理解・技能			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○A領域の平均正答率は98.4%で、全国平均より7.6ポイント高い。 ○B領域の平均正答率は72.6%で、全国平均より7.4ポイント高い。	・話すこと聞くことのを伸ばすために、国語の時間には、説明や報告をする、意見を述べるなど、伝えたい目的を明確にして話す機会を多く設定する。普段の生活においては、朝の会や他の教科・領域、児童会活動などの時間に、発表の機会を多く設定したり、休み時間などにコミュニケーションの機会を多くもつようにしたりしていく。
書くこと	○A領域の平均正答率は81.0%で、全国平均より7.2ポイント高い。 ●B領域の平均正答率は44.4%で、全国平均より1.2ポイント低い。	・目的や意図に応じて、条件に合った適切な情報を選んだり、書き方を考えたりして、相手に内容が分かりやすく伝わるように詳しく書くことを指導していく。さらに、表現の工夫として、他のものと比較して書くことで、分かりやすく伝えることができることを指導していく。
読むこと	●A領域の平均正答率は73.0%で、全国平均より1.0ポイント低い。 ○B領域の平均正答率は55.6%で、全国平均より4.8ポイント高い。	・物語文では、登場人物の行動や会話、情景描写などから、登場人物の心情が暗示的に表現されている叙述を見つけ、登場人物がもつ喜び、怒り、寂しさ、悔しさなどの心情を捉えるような指導を続けていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●平均正答率は64.9%で、全国平均より2.1ポイント低い。	・漢字の指導は引き続き取り組んでいく。漢字の部首や熟語、文の中での使い方などを繰り返し指導していく。 ・慣用句やことわざ、故事成語などの意味や使い方を繰り返し復習し、日常生活で使えるようにする。